

青山顧問に聴きました



熱っぽく語る青山興司顧問

市は7月から、市立成羽病院の顧問として、国立病院機構岡山医療センター名誉院長で、社会福祉法人 旭川荘の特別顧問でもある青山興司先生(67)を迎えました。

平成23年度からの運営形態である地方公営企業法の全部適用に向けて、病院事業管理者の人選など総合的に助言・提言をしていただきます。

青山先生に顧問としての抱負を聞きました。

―就任されて早や3カ月が経過しました。顧問は今後、成羽病院がどのような方向を目指していけばよいと考えていますか。

高梁市が、子育てや高齢者福祉などが充実した「まちづくり」を目指していると聞いているので、医療はもちろんですが、保健・福祉などの関係機関、また教育機関とも連携し、その中心的な役割を担っていければと思っています。



―そうするためには何が必要でしょうか。

現在の成羽病院のいいところは継承し、改善の必要があるところは改善していきたい。そのためには、まず第一に「意識改革」であり、研修会・講演会などを通じて浸透していきたい。また、第二として、公立病院としての役割である「救急医療体制の充実」を図ることが大切です。第三は、「地域に愛される病院」を目指したい。そのためには「接遇」はとても大切で、地域にとって「やさしい病院」を目指したいですね。もちろん、医師や看護師の言葉遣いや態度だけが「やさしい」のではなく、適切な医療提供ができる病院でなければ「やさしい病院」とは言えないと思います。

―顧問は国立病院機構岡山医療センター時代の4年間に、医師や看護師などの人員を大幅に増やして医療体制を充実し成功を収められました。市は現在、行財政改革に取り組んでおり、大幅な人員の増員は困難ではないかと考えられますが。

医療は人員を減らすと衰退してしまいます。公立病院ということは十分理解しているが、職員の質の向上とともに、人員もしっかり確保できるよう努め、適切な医療サービスを提供していきたい。

新たに2件を市重要文化財に指定 八重籬神社と八重籬神社六角神輿

八重籬神社(史跡)、八重籬神社六角神輿(有形民俗文化財)の2件が、7月14日の市文化財保護審議会の答申を受け、8月定例教育委員会で新たに、市の重要文化財に指定されました。これにより、市指定重要文化財は156件となります。

八重籬神社(史跡)

内山下にある八重籬神社は、寛政5年(1793)、備中松

山藩4代藩主板倉勝政によって創建され、文政13年(1830)、6代藩主板倉勝職が現在の地に神社を建立しました。その後、御根小屋(現・県立高梁高校)から遷宮され、約180年を経て、今に至っています。藩主板倉家の始祖勝重、2代重宗を祭る八重籬神社は備中松山藩との歴史的関連が深く、本市の歴史を知る上で重要な史跡です。

八重籬神社六角神輿(有形民俗文化財)

八重籬神社六角神輿は、神輿



八重籬神社六角神輿

の墨書から、天保14年(1843)に大坂心斎橋の細工人・鎌田常右衛門によって制作されたことが分かっています。

県内には江戸時代の神輿が14基あり、八重籬神社のものは11番目の古さです。その形から六角神輿と呼ばれており、保存状態は良好です。

この神輿は八重籬神社の神輿庫に納められており、外から窓越しに見ることができます。

■問い合わせ 社会教育課文化係(☎②1516)

9月 定例市議会

9月定例市議会が9月8日(30)の23日間の会期で開かれ、平成21年度各会計の歳入歳出決算認定議案や平成22年度一般会計補正予算案など20議案を上程。原案どおり可決されました。決算、予算以外で可決された主な議案は次のとおりです。

▼高梁市学童保育条例の一部を改正する条例：高倉小学校廃校に伴う高倉学童保育の廃止

▼高梁市教育委員会委員の任命について：山内廣子さん(川上町下大竹)の任命

▼高梁市固定資産評価審査委員会委員の選任について：藤井勝幸さん(上谷町)、佐藤千代子さん(伊賀町)、蛭田文夫さん(有漢町有漢)、加藤典男さん(成羽町中野)、面田安司さん(川上町仁賀)、森繁俊太郎さん(備中町長屋)の選任

▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて：野口弘子さん(巨瀬町)の推薦

▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて：野口弘子さん(巨瀬町)の推薦



八重籬神社